

【経営体育成基盤整備事業 瓜連地区】

最大3haの大区画化と農地集積・集約化による経営強化（茨城県那珂市）

体制・人材づくり 栽培作物・方法 加工・出荷 販売

【工夫のポイント】

- 基盤整備を契機に、担い手に借受条件を統一し、地権者に貸し先を限定しないよう調整し、地域計画のモデル地区となる**9割超の農地集積・集約化**を達成
- 集約化が進んだことで、**最大3ha区割の大区画化を実現**
- 生産基盤の改善によりドローン直播等の**スマート農業を展開**
- 乾田化による、**高収益作物や、麦・大豆・そばのブロックローテーションの導入**

【取組地域の概要】

- 位置 なか 茨城県 那珂市 うりづら 瓜連地区



- 地区面積 51.6ha

- 主要作物 水稲

- 主な支援対策
 - ・農業競争力強化農地整備事業 (R4~)
 - ・農地耕作条件改善事業 (R5~)

基盤

3ha区画及び自然圧PLや排水路管路化などの整備により 営農や維持管理の労力を大幅に軽減

- 区画整理や用排水の整備により、慢性的な用水不足と排水不良が解消され、計画的な営農が可能となった。さらに、大区画化により大型機械の導入も可能となり、労力の軽減が図られ、**担い手の経営規模の拡大**が図られた。



・自然圧PLと管排水路の導入により維持管労力の低減を実現

・田んぼダム対応型落水口を導入し「貯める対策」を実施



基盤整備の状況（最大3haの大区画）

基盤整備 (R4年~)

【整備前】

道路が狭く狭小な水田では、農作業に多大な労力を要し、更に**用排水路が老朽化し、維持管理費が増加**していた。



生産現場

大区画化・汎用化による新たな農業の展開

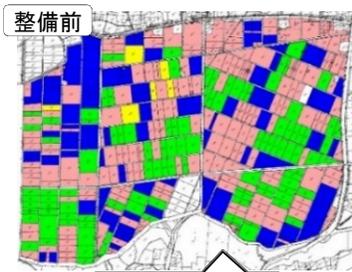
- **担い手を特定しない**ことで、3ha区画の実現と給水栓及び落水口の設置を最小限(各6個/3ha)
- ドローン直播による**スマート農業の導入**
- 水田の汎用化により麦・そば等及び高収益作物を導入予定



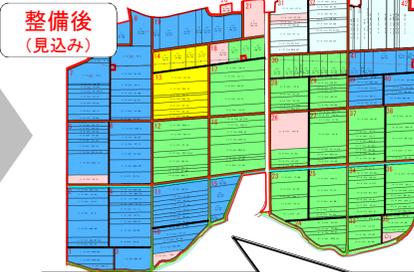
ドローン直播

担い手

中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化



集積率54%



集積率**95%** 集約化率**100%**

基盤整備に伴う労働時間の削減

- **大区画化**により作業効率が向上し省力化が図られ、**労働時間が大幅に削減**
- **スマート農業の導入**によりドローン直播を実施することで、田植えに要する**労働時間が大幅に削減**

